

風しん予防接種を希望される方へ

～必ずお読みください～



【対象者】 益子町内に住所があり、19歳以上（年度内に19歳になる方も含む）の男女
※年齢の上限はありません。

【助成回数】 1回

【接種場所】 芳賀郡市内医療機関（接種前に必ず予約をしてください。）
※郡市外の医療機関で接種される場合は、別途手続きが必要になります。

【助成金額】 接種費用のうち次の金額を町が負担します。

- 麻しん風しん混合ワクチンを接種した場合 5,000円
- 風しん単独ワクチンを接種した場合 3,000円

※予防接種の金額は医療機関により異なります。

接種費用から助成金額を差し引いた額を医療機関へお支払いください。



ご注意ください!!



この予防接種は、妊娠している方への接種はできません。

接種前1カ月間、接種後2カ月間は、妊娠を避ける必要があります。

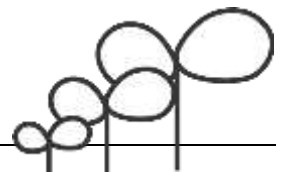
今回の予防接種は任意接種です。ワクチンの効果や副反応をお考えになったうえで
ワクチンの接種を受けるかどうかをお決めください。

1 風しんについて

風しんは風しんウイルスによっておこる感染症で「三日ばしか」とも呼ばれます。主に春先から初夏にかけて流行し、^{ひまつかんせん}飛沫感染でヒトからヒトへと感染します。周期的に流行が起きますが、2018年は風しん患者の届出数が増加しています。

2 風しんの症状・合併症

主な症状は、発疹、発熱、リンパ節の腫れで、そのほかにせき、鼻汁、目が赤くなるなどの症状もみられます。潜伏期間（ウイルスに感染後、無症状の期間）は2～3週間で、発疹の出る2～3日前から発疹が出た後の5日くらいまでは感染力があるといわれています。感染しても子どもでは3日程度で治るとされていますが、大人になってからかかると関節痛がひどくなるなど重症化する傾向がみられます。



一般的に予後は良好といわれていますが、まれに血小板減少性紫斑病（症状としては出血斑、鼻血；約 3000 人に 1 人）や脳炎（症状としては発熱持続、けいれん、意識障害；約 6000 人に 1 人）といった重い合併症がみられる場合もあり、決して軽視できない病気です。

妊娠初期の女性が風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気により、心臓病、白内障、難聴などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。一緒に生活しているご家族からうつることが多いため、ご家族が風しんにかからないようにワクチンを受けておくことも大切です。



3 ワクチンの効果と副反応

ワクチンにより 95%以上の人に免疫が獲得されます。風しんには特別な治療法はなく対症療法だけなので、ワクチンによる予防が重要です。

主な副反応は、発疹、じんましん、紅斑、かゆみ、発熱、リンパ節の腫れ、関節痛などが認められ、接種部位に発赤、腫張（はれ）、疼痛（痛み）があらわれることがあります。まれに重い副反応として、ショック、アナフィラキシー様症状、紫斑・鼻出血・口腔粘膜出血等の症状が見られる血小板減少性紫斑病（100 万人接種あたり 1 人程度）が報告されています。

4 次の方は接種できません

- ①明らかに発熱（通常 37.5℃以上）している方
- ②重い急性疾患にかかっている方
- ③本剤の成分によりアナフィラキシー（重いアレルギー反応）を起こしたことがある方
- ④免疫機能に異常のある方・免疫抑制をおこす治療を受けている方
- ⑤妊娠している方および妊娠している可能性のある方
- ⑥その他、医師に予防接種を行うことが不相当であると判断された方



5 予防接種後の注意事項

- ①接種当日は接種部位を清潔に保ち、過度な運動や飲酒を避け、静かに過ごしてください。
- ②接種後 2 週間は健康状態や副反応に留意し、何か気になる症状がある場合は医師に連絡してください。
- ③今回の接種により健康被害が発生した場合には「医薬品副作用被害救済制度」により治療費等が受けられる場合があります。詳しくは独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ等をご覧ください。



【お問合せ】

益子町保健センター ☎70-1121

